

わたしの議会。



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

7月14日(月)ミジュマル公園が開園しました！

鳥羽市議会各種SNS



とば市議会だより 目次

6月会議報告	2	納税等状況報告	5
常任委員会報告	2～3	一般質問	6～11
議員別表決結果	4	TOBAミライトーク募集中！	11
政務活動費収支報告	5	鳥羽市議会サポーターについて	12

議会報告

令和7年度鳥羽市一般会計補正予算(第2号)ほか、鳥羽市学校設置条例の一部改正についてなど、執行部提案議案22件、請願1件、議員発議2件を審議しました。

・議案質疑・

議案第2号 令和7年度鳥羽市一般会計補正予算(第2号)

濱口正久

「変革への胎動予算」をどのように指示したか

市長

子育ての予算に力点を置くように指示した

問 「変革への胎動予算」の基本方針について、各課にどのように指示しましたか。

答 市長 第六次総合計画に示されている未来の都市像は大きく変革はしないが、子育ての予算については力点を置くように指示しました。また、スケジュール感を持って取り組むことも併せて指示しました。

問 市長就任後、自身の発案で計上した予算は何ですか。

答 市長 小学校の入学祝い金を5万円に値上げ、離島の高校生の通学費・下宿代補助を2分の1へ引き上げ、小中学校の給食費の全額無償化などです。

常任委員会報告

●各常任委員会に9議案が付託されました。

行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第8号 志摩広域行政組合の共同処理する事務の変更及び志摩広域行政組合規約の変更に関する協議について

〈内容〉民間事業者による参入や福祉・介護サービスの多様化等により、志摩福祉センターの次の事務について廃止する。
 ・介護保険法に規定する通所介護事業
 ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する障害福祉サービス事業、一般相談事業、地域生活支援事業

問 事業が廃止となるが、鳥羽市の登録者へは今後どのように対応していくのか。

答 7月に各事業を12月末を目途に廃止していくことをお伝えし、次のところを紹介していくと伺っている。



請願第1号 離島架橋の早期実現を求める請願

〈請願の趣旨〉離島住民の生命と生活を守る、離島架橋を実現すること。特に、面積・人口ともに最大の離島である答志島と本土を結ぶ答志島架橋を早期に実現すること。

↓請願第1号は6月23日本会議において全会一致で採択されました。また、鳥羽市議会として県・国の関係省庁に対し「離島架橋の早期実現を求める意見書」を提出しました。

予算決算
委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第2号 令和7年度鳥羽市一般会計補正予算(第2号)

へ主な補正予算の内容と質疑応答
 ● 災害予防対策推進事業(被害認定調査から罹災証明の発行、被災者台帳の作成管理までの一連の業務を一括管理するシステムの導入等に係る費用を補正)
 ……1239万円

問 被災者生活再建支援システム構築業務について、導入により被災者対応の人員削減やスピードアップにつながるのか。
 答 人員は必要となるものの、スピードアップにつながる。

● 中央公園施設整備事業(鳥羽中央公園野球場において、公園施設外への飛球を防止するため、防球ネットを設置する費用を補正)
 ……1330万円

問 ネットの高さは8メートルで大丈夫なのか。

答 野球連盟と協議し、8メートルの高さで十分と判断した。



鳥羽中央公園野球場の様子(7月時点)

● 離島振興事業(離島地域における地域課題の解決を目的に、企業等が行う提案型プロジェクトを支援。滞在経費等の補助を行うことで企業を離島地域へ呼び込み、地域と企

業の協働による課題解決と関係人口の創出を図る)
 ……200万円

問 この取り組みを離島に限定した理由は何か。

答 条件的に厳しい離島で実証ができれば、その手法をほかの地域でも横展開できることを期待して離島を選定した。

● 消防施設整備維持管理経費(災害時に活動拠点となる消防団格納庫の新築及び維持管理に係る経費を補正。また、県補助金を活用し、可搬型ヘリポート用夜間灯火一式の購入に係る費用を補正)
 ……1472万1000円

問 これにより、防災ヘリの夜間発着が可能となるのか。

答 三重県の防災ヘリについては夜間運航は行っていないが、大規模災害時に夜間運航を行っている他県からの支援隊の受け入れが可能となる。

● 小学校管理業務(児童の熱中症対策のほか、防災拠点としての機能向上を図るため、避難所となっている学校体育館への空調設備設置及び施設の断熱化等に向けた設計業務に係る費用等を補正)
 ……1417万7000円

問 体育館の空調設備設置について、対象外となった学校についてはどのように考えるか。
 答 防災の観点、離島振興の観点から引き続き検討を進めたい。



空調設備設置が決まった鳥羽小学校体育館

人事

副市長の選任について同意

大野 源広 氏

農業委員会の委員の任命について同意

上村 達男 氏
尾崎 勘七 氏
押田 五生 氏
木田 三男 氏
齋藤 又五郎 氏
佐々木 修 氏
澤田 文和 氏
下村 一登 氏
竹内 和雄 氏
田畑 裕美 氏
中村 一善 氏
成瀬 きぬ代 氏

令和7年6月5日～6月23日会議

議員別表決結果

○：賛成 ×：反対
-：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	倉田正義	五十嵐ちひろ	世古雅人	山本欽久	瀬崎伸一	南川則之	濱口正久	河村孝	戸上健	木下順一	坂倉広子	尾崎幹	世古安秀	
2	令和7年度鳥羽市一般会計補正予算(第2号)	6月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
3	令和7年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
4	鳥羽市学校設置条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
5	財産の取得について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
6	財産の取得について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
7	鳥羽市辺地の総合整備計画の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
8	志摩広域行政組合の共同処理する事務の変更及び志摩広域行政組合規約の変更に関する協議について		可決	○	○	○	○	○	○	○							
9	鳥羽市議会議員及び鳥羽市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び鳥羽市議会議員及び鳥羽市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
10	委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
11	副市長の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
12	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
13	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
14	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
15	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
16	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
17	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
18	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
19	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
20	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
21	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
22	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
23	農業委員会の委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
請願1	離島架橋の早期実現を求める請願			採択	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
発議2	離島架橋の早期実現を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
発議3	離島架橋の早期実現を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
報告1	令和6年度鳥羽市一般会計繰越明許費繰越計算について		採決なし														
報告2	令和6年度鳥羽市水道事業会計予算繰越計算について		採決なし														

議長につき表決なし

令和6年度政務活動費収支報告

議席	議員氏名	交付決定額	支出合計	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	活動費 要請・陳情	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務費	返還額
1	世古雅人	156,000	40,800		40,800									115,200
2	山本欽久	156,000	41,480		41,480									114,520
4	瀬崎伸一	156,000	60,368		40,700								19,668	95,632
5	南川則之	156,000	156,000			156,000								0
6	濱口正久	156,000	156,000			156,000								0
7	山本哲也	156,000	156,000	24,955	114,260			16,785						0
8	河村 孝	156,000	116,197		40,000		14,207			6,400	2,310		53,280	39,803
9	戸上 健	156,000	156,000			156,000								0
10	木下順一	156,000	156,000	26,400	25,640	100,560					3,400			0
11	坂倉広子	156,000	106,560		31,570						56,256		18,734	49,440
12	尾崎 幹	156,000	156,000	156,000										0
13	世古安秀	156,000	26,400			26,400								129,600

※議席は令和7年4月30日時点の番号です

納税等状況報告

鳥羽市議会議員政治倫理条例の規定により、前年1年間を通じて議員であった者の納税等状況を公表します。

議席	議員氏名	市・県民税	軽自動車税	固定資産税	都市計画税	保険税 国民健康	医療保険料 後期高齢者	※1 介護保険料	水道料金	下水道料金
3	世古雅人	○	○	○	—	○	—	—	○	○
4	山本欽久	○	○	○	○	—	—	—	—	—
5	瀬崎伸一	○	○	—	—	○	—	—	—	—
6	南川則之	○	○	○	—	○	—	○	○	—
7	濱口正久	○	○	○	○	○	—	—	○	—
8	河村 孝	○	—	—	—	○	—	—	○	—
9	戸上 健	○	○	—	—	○	○	○	—	—
10	木下順一	○	○	○	—	—	—	—	○	—
11	坂倉広子	○	—	—	—	—	—	—	—	—
12	尾崎 幹	○	—	○	○	○	—	—	—	—
13	世古安秀	○	○	○	—	○	—	○	○	—

《表示例》

- ：当該年度に納付すべき額が、納付済みの場合。
- ×：当該年度に納付すべき額が、未納付の場合。
- ：納付義務がない場合。

※1 介護保険料については、介護保険法第129条第2項の規定に該当する者が対象。

※2 納付義務がない事実上の納付分については、報告対象外。

令和7年5月26日現在

これが知りたい・ここが聞きたい

一 般 質 問



6月10日・6月11日に10人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。



各議員の動画はこちらからご覧いただけます↑

日程	議員氏名	項目
6月10日(火)	せごまさひと 世古雅人	市長が掲げた選挙公約の構想と取り組みについて 鳥羽市職員の職場環境や勤務体制の改善について
	きのしたじゅんいち 木下順一	市長の市政運営方針と基本姿勢等について
	とがみけん 戸上 健	市長の政治姿勢について／積年の課題に対する対応について／「生理的貧困」について
	くらたまさよし 倉田正義	鳥羽の未来を担う人財の創出・育成と学校教育について
	おびきみき 尾崎 幹	防災ビジョンについて／消防本部の観点から「予防・減災」について 建設課の観点から「予防・減災」について／観光商工課の観点から「予防・防災」について
6月11日(水)	みなみがわのりゆき 南川則之	市内小・中学校の問題解決と子育て世代の支援策について／菅島採石について
	はまぐちまさひさ 濱口正久	市営定期船の安全運航について 公有財産を活用した若者及び子育て世帯の定住支援に繋がる住環境の整備について
	せごさしんいち 瀬崎伸一	鳥羽市における諸課題解決に向けた新市長の姿勢について
	いがらし 五十嵐ちひろ	保育所の主食持参について 鳥羽市役所における、性別に関わらず活躍できる環境づくりについて
	さくらひろこ 坂倉広子	安心して搾乳できる環境づくりについて／公園におけるインクルーシブ遊具の整備について 学校を取り巻く教育環境の多様化について

パールビル跡地の活用について構想を持っているか

市長

市民の皆さんに納得してもらえそうな交渉をしていく

問 選挙公約に掲げた「みなとまち再生」の中で、パールビル跡地の活用について、どのような構想を持っていますか。また、問題解決に向けての取組内容やスケジュールをお聞きます。

答 市長 パールビル閉鎖後17年という事で市民の大きな関心事となっております。地権者の方とは丁寧に向き合いながら解決できるよう進めていきたいと考えています。就任2か月近くたちますが、地権者の半分以上の方と話をしてきました。今後は、専門的知見の方に入っていただき、オープンに皆さんに納得してもらえような交渉をしていきます。

問 パールビルの取得と新たな開発の金額の見込みはどの程度ですか。また、施設を建て替える場合、企業等と共同で開発する考えはありますか。

答 市長 金額は繊細なこともあり、こ

の場では申し上げられません。社会资本整備総合交付金等を活用しながら国・県等のパイプを大事にして進めていきたいと考えています。開発等は鳥羽市単体での再構築は難しいと考えています。

意見 取得金額や施設の取り壊しは、交渉に影響が出るので具体的な発言はできないのは仕方ないことですが、経費の交渉については、市民が納得できる金額で進めていくと



パールビルの現状



せごまさひと
世古雅人

「みなとまち鳥羽」の 目指す方向は



きのしたじゅんいち
木下 順一

市長

「稼げるまち」としての 起点に

問

鳥羽駅周辺エリアの再生について、市長はどのような将来像の下で一体的に構想されたのか、市長の描く「みなとまち鳥羽」の目指す方向をお聞かせいただけます。

答

市長 鳥羽駅周辺につきましては、鳥羽市は三重県の中でも唯一無二のポテンシャルを持っていると理解しています。鳥羽駅で降りた時に、身近に海を感じられるこのポテンシャルを最大限に生かすべきだと強く思っています。そのコンセプトは、鳥羽がこれから価値を上げ、「稼げるまち」として作っていくための起点になると私は考えています。

市長 政策実施には、私が使う「実行力」「実現力」という言葉を大事にしています。そこに至るまでには、これまで市政の停滞があったと私自身は感じています。特にパールビルに象徴されますように、17年間手つかずの状態でした。この一例をとっても、もっと積極的に、考えながら走ることができたのではないかと思います。とにかくスビードを重視し、今回の政策を掲げました。



木下 順一 市長

市民の苦境打開に着手は

市長

水道基本料金減免 などを行う

生理用品の支援は



とがみけん
戸上 健

市長 市民の苦境打開のために市長としてすぐ着手する事業は何でしょうか。

市長 3点挙げさせていただけます。1点目は、2か月間の水道の基本料金の減免。2点目は小・中学生の給食費の無償化。3点目に入学応援金について、小学校へ入学する児童の祝い金を3万円から5万円に増額しました。

問

これまで執行部は、学校、公共施設への生理用品について配備、支援検討と答弁してきました。現状どうなっていますか。

学校教育課長 市内小・中学校においては、令和3年度途中から、トイレや保健室等に配備しています。

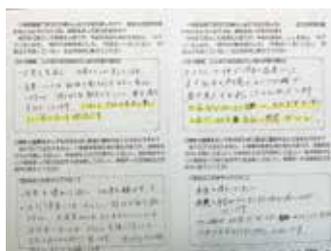
市長 生理の貧困ということですが、鳥羽市は公共施設に今現在置いていないということでしたので、試行的にひだまりと西庁舎、本庁舎の3か所には生理用品を配備するように担当課へ指示しました。

子ども医療費無料化を18歳まで枠拡大、窓口での無料化の実施はどうなされていますか。

市長 18歳まで窓口の無料化をやる覚悟でいます。

学校体育館の空調設備について、どのような計画で進められますか。

市長 今回の補正予算では小学校の3校（鳥羽・加茂・弘道）について予算計上をさせていただいています。今後、順次進めてまいります。



物価高騰緊急市民アンケートの回答

第3次教育ビジョン、次期統合計画に明るい展望を



くらた まさよし
倉田正義

教育長

鳥羽ならではの教育をしっかりと進めていく

問 外国語教育の主な取組として、「鳥羽市に来る外国人観光客への英語

を利用してのボランティアガイドを実施し、英語でコミュニケーションを取る機会をつくる」とあります。これまでの実績、今後の予定はどのようになっていますか。

答 学校教育課長 令和元年12月に

イヤモンドプリンセスが寄港した際に、市内中学生の希望者でボランティアガイドを実施しました。その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止しています。今年度、ボランティアガイドを再開する予定でいます。

問 第3次教育ビジョン、次期鳥羽市

小中学校統合計画の策定にあたっては、明るい展望を示していただきたいと願いますが、持続可能な鳥羽の学校教育をどのようにして実現されますか。



令和7年6月8日鳥羽港に寄港したクルーズ船(バイキングエデン)

答 教育長 持続可能な教育をいかに進

めていくかという部分で気がかりなところではありますが鳥羽ならではの特色ある教育をしっかりと進めていくこと。議員言われましたように、内外にしっかりと発信していくこと。まずもってそのことを実践していきたいと考えております。また、次期統合計画については、次期教育ビジョンの内容を十分反映したものを策定していきたいと考えております。

防災・減災に対する思いは



おさき みつひこ
尾崎 幹

市長

しっかりと対峙していききたいという姿勢でやって

問 市長選挙の際は公約の4番目が防

災でした。南海トラフ大地震を想定し、また、20年、30年先を見据え、今すぐ動かなければいけないことは何ですか。

答 市長 今すぐ動くということで4点

挙げさせていただきます。地域防災力の向上、避難所となる学校体育館等の空調化、事前復興計画の策定、災害に備えたインフラ整備です。例えば、避難タワー等の設置の可能性を排除せずに考えていきます。

問 市長の空き家問題を含めた防災・

減災に対する思いをお聞きます。市長 南海トラフを想定しますと、空き家の対策は待ったなしの状態だと思っています。行政代執行等については、強く住民に訴えていく必要があると思っていますので、しっかりと対峙していくという姿勢でやっていききたいと思っています。



尾崎幹議員

問 観光客の誘致、パールビル、駅周辺

開発、立地適正など今後の実施を考える中で、国土調査を入れてしっかりと区分けしながらやっていく考えはありますか。

答 市長 立地適正化計画は、今後の事

前防災等について非常に重要な決まりだというふうに認識していますので、しっかりと今後取り組みながら、国土調査の進み具合もできる限り急ぐようにしたいと思っています。

菅島採石場の裁判について 市長のご所見は



みづがわのりゆき
南川則之

市長
.....
これからしっかりと
対応していきたい

問 長年続けてきた菅島採石場の裁判における市の対応について、市長のご所見はどうですか。

答 市長 この8年間に及び係争した裁判における最高裁の判決は遵守、尊重したいと思っています。その間、菅島町内会の方々には資金的な面、心労的なところで大変ご迷惑をかけたこととお詫び申し上げたいと思います。これからしっかりと対応していきたいと思っています。

問 菅島町内会と対話により、今後の菅島採石場のあり方などを検討すべきだと思いますが、市長の判断はどうですか。



平成29年10月から裁判を続けてきた菅島採石場一帯

加茂小学校区への放課後児童クラブ設置の時期は

市長
令和8年4月に実施していく方向で制度設計していく

問 加茂小学校区への放課後児童クラブ設置の時期及び子育て支援対策として、運営支援の拡大、保護者負担の見直しなどを検討してはどうですか。

答 市長 令和8年4月に実施していく方向で制度設計していくということの間違いありません。子どもが安心して行ける、保護者も安心して預けられる居場所づくりをまずはやります。そして、経済的な負担についてはしっかりと研究、検討していきたいと思っています。

減船はいつ判断されるか



はまぐちまさひさ
濱口正久

市長
.....
現場の声が無理だとなれば前倒しする必要がある

問 鳥羽市の船員定数と現状の船員数をお聞きます。

答 定期船課長 鳥羽市定期航路の船員定数は32名となっています。現状の船員数は令和7年6月1日現在で、欠員5名、病気休暇1名を除いた26名です。

問 過去5年間の船員の採用数と離職数をお聞きます。

答 定期船課長 令和2年度から令和7年4月末まで、採用12名、離職数は定年退職も含め17名です。

問 現状の船員の労働環境を市長はどう考えていますか。

答 市長 人員不足から職員を超過勤務が発生しています。このような状況で運航を続けるということについては、大変安全上のリスクがあるということとは認識しております。

問 船員の離職率低下につながる待遇

答 市長 改善について、市長としてどう考えていますか。また、必要と考える場合、すでに指示はされましたか。

答 市長 採用条件の緩和、それから手当等を含めた処遇の厚みという点で、関係課長には既に指示をしています。

問 早期の減船には政治判断が必要と考えますが、いつ判断されますか。

答 市長 令和11年の減船が私の本来の姿勢でなくてはいけないと思っていますが、現場の声が無理だということになれば、11年の減船は前倒しする必要があるだろうというふうに思っています。

過去5年の採用数と離職数

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
採用	3	3	5	1	0	0	12
退職	4	2	5	4	1	1	17

令和2年度～令和7年4月末、
採用12名、離職17名
(令和11年まで5名定年退職)

離島架橋の早期実現の是非をどう考えるか



せさきしんいち 瀬崎伸一

市長

皆さんの意見を聞き、しっかりと県、国への要請を行いたい

問 離島架橋の早期実現の是非をどのように考えていますか。また、国への要望はもとより、唯一頑なに後ろを向く県への方針は正に向けた強力な折衝・要望を粘り強く続けていくお考えはありますか。

答 市長 離島架橋につきましては、長年の離島住民の悲願です。橋というのは、災害の問題、医療の問題についても、一気に解決できる非常に有効な手段だと考えています。私の市政では、私の責任の下でもう一度皆さんのご意見を聞かせて頂き、その上でしっかりと県、国への要請を行いたいと考えています。

問 複合的な効果を勘案しても、長岡地区への送水ルートは大坂峠經由ルートで更新されるべきだと考えますが、市長は如何にお考えになりますか。

答 市長 堅子配水池から長岡地区への管路については、昨年度来、二度

三度と破損して、そのたびに工事が入っています。今後、破損はまだまだ考えられるので、新しい配管のルートは考えていく必要があると思っています。松尾から相差へ直接抜けるルートについては、今は計画に入っていないので、財源の確保、国への支援要請を含めて、今後、しっかりとやっていきます。



これまでにも質問した市政課題について、改めて新市長の基本的な姿勢を問いました

保育所への主食持参、見直しや改善をするか



いがらし 五十嵐ちひろ

市長

子育て支援に手厚い鳥羽市を指す以上はしっかりと取り組んでいきたい

問 保育所へ主食を持参することについての保護者の声や、負担感につながっている実情をどのように受け止めていますか。また、現場で働く職員の方からはどのような意見がありますか。

答 健康福祉課副参事 保護者の方から主食の提供を希望するご意見等があることは承知しており、引き続き子育て支援室の中でも検討しているところです。その中で、保育所長からは、現状の設備や物品等では対応できず一定の整備が必要であることや、提供することによる新たな課題を懸念する意見もありました。一方で、子供たちに温かいご飯を食べてもらえる、献立のバリエーションが増えるのではないかなどメリットも感じており、おおむね環境を整えば主食の提供は可能であるとの意見でした。



五十嵐ちひろ議員

問 保育所においても、主食は別事業者へ委託し、設備に係る費用を抑えるという方法もあるかと思えます。鳥羽市として、今後、主食持参の見直しや改善の検討を進めていく考えがありますか。

安心して搾乳できる 環境づくりを



さかくらひろこ
坂倉広子

健康福祉課副参事

搾乳マークの掲示を 進めていきたい

問 授乳室で搾乳することの理解が進んでいないと考えますが、授乳室の在り方について市の考えを伺います。

答 健康福祉課副参事 搾乳も授乳の一環と捉えており、一般的には搾乳を行う場合も授乳室を利用していただけるものと考えています。

問 市の公共施設などに、安心して搾乳できる環境づくりとして授乳マークを掲示していただけないでしょうか。

答 健康福祉課副参事 現在、本市の公共施設に設置している授乳室には、搾乳マークを掲示していませんが、掲示場所等について施設側と協議の上、早速掲示のほうを進めていきたいと考えています。



健康福祉センター
ひだまりに導入された
搾乳ステッカー

インクルーシブ遊具の導入は

建設課副参事

今後検討すべき事項である

問 インクルーシブ公園は、ユニバーサルデザインを取り入れた多様な人が一緒に楽しむことができる公園です。本市においてインクルーシブ遊具は導入されますか。

答 建設課副参事 障がいの有無に関わらず、誰もが一緒に楽しめる公園づくりは重要と考えますので、今後検討すべき事項であると考えています。
市長 ミジユマル公園と市民の森をキッズのツインパークとして売り出したかと思っています。担当課には既に指示はしましたので、鳥羽市民が誇れるいい公園にしたいと考えています。

TOBAミライトーク募集中！

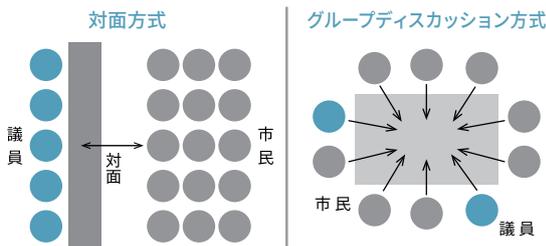
あなたのまちへ議員を派遣します。お気軽にお申し込みください！

▶ 派遣までの流れ

① 話し合いたいテーマを一覧表から選択し、議会事務局へ申し込んでください。

② 議会事務局で受け付けし、広報広聴委員会で派遣する議員数を調整します。

③ 当日、担当議員が出向いて、意見交換を行います。なお、希望する対話方式について、「対面方式」または「グループディスカッション方式」のどちらかをお選びください。



▶ 実施期間

令和7年6月1日(日)～令和8年4月30日(木)
(土、日、祝日、夜間の開催も可。)

▶ 対象

市内在住、在勤、在学の5人以上のグループが
市内で実施する集会へ議員を派遣します。

▶ テーマ一覧

- ① 移住定住
- ② 子育て支援、教育
- ③ 産業振興、雇用
- ④ 高齢者、障がい者福祉
- ⑤ 環境、まちづくり
- ⑥ 防災
- ⑦ その他(①～⑥以外のテーマで話し合いたいこと)

▶ 申込方法

申込用紙(市議会ホームページからダウンロード可)により、原則、実施希望日の3週間前までに電子メール、ファクス、郵送、持参で申し込んでください。



鳥羽市議会サポーターが 決定しました

鳥羽市議会では、議会の運営について、意見を聴取し、その意見を議会運営に反映させていくことを目的とする「鳥羽市議会サポーター制度」を実施しています。

6月よりサポーターを募集していましたが、この度、新たに14名のサポーターが任命され、7月15日(火)に任命式が行われました。(出席者13名)



鳥羽市議会サポーターの みなさん

小林信行さん、中村俊一さん
中村 誠さん、山下憲一さん
城山 巧さん、岡野あいさん
細木大路さん、水谷伸子さん
濱口和美さん、三宅大吉さん
山本英嗣さん、吉川桂子さん
寺本祐二さん、杉本 智さん

サポーターのみなさんには、今後議会の傍聴や議会放送等を視聴いただき、議会の運営に関する意見を提出してもらうとともに、議員との意見交換会(2月頃に開催を予定)に出席していただきます。

鳥羽市議会としましては、市議会サポーターと共に、議会をより身近に感じる「開かれた議会」を目指し、議会運営の改善に向けて努めてまいります。

編集後記

わたしの議会。(とば市議会だより)第192号をお届けします。

五月から広報広聴委員会が新しいメンバーになりました。

この委員会では、議会が何をしているのかを発信すると同時に、市民の声を広く聞く、という大きな役割があります。今年度から始まる鳥羽市議会サポーター制度は、その大きな役割への新たなチャレンジとなります。試行錯誤あると思いますが、サポーターと共に風通しのよい議会を目指していきます。

よろしくお祈りします。

やまもとよしひさ
記 山本欽久

広報広聴委員会	委員長	やまもとよしひさ 山本欽久
	副委員長	はまぐちまさひさ 濱口正久
	委員	くらたまさよし 倉田正義
	委員	いがらし 五十嵐ちひろ
	委員	せこまさひと 世古雅人
	委員	みなみかわのりゆき 南川則之
	委員	かわむら たかし 河村 孝